

## ○ 学校の概要 (平成15年4月現在)

東海市立上野中学校						
	1年	2年	3年	特殊学級	計	教員数
学級数	4	4	4	2	14	27
生徒数	126	141	128	5	400	

## 1 「総合的な学習の時間」の課題について

本校では、12年前から「総合的な学習の時間」に取り組んできた。3学年6主題は、テーマもよく練られたものであるが、時を経て現在にそぐわない内容も出てきた。また、教師の異動も数多く数え、教師に指導計画通りにやればよいという形骸化や担任の熱意や工夫も少なくなるなど、問題を抱えている。「総合的な学習の時間」は生徒の一人一人がテーマにしたがって体験等を重ねて課題を解決していく学習が中心になる。そのためには、担任のアプローチと支援が大切である。カリキュラム等の見直しを図り、生徒も教師も楽しい総合的な学習となるようにしなければならない。

## 2 「総合的な学習の時間」の研究主題と目標設定について

「かかわる 見つめ合う 高め合う コミュニケーション能力の育成を通して」を研究主題とし、指定である「総合的な学習の時間」において、より多くの対象や他者とかがわらせたい。その中で、お互いのよさを認め合い、課題を見つめ合う。さらに手を携えてそれぞれの問題解決に向かい、自他共に生かし高め合うことのできる子どもを育てたいと考えた。

特に、「総合的な学習の時間」の英語活動や異年齢交流等に取り組む中で、教科や道徳、特別活動で培われた力を土台とした、時・場・人に応じたコミュニケーション能力の育成を図る。さらに、その中でお互いが理解し合い高め合っていくこととする気持ちの育成を図る。

## 3 「総合的な学習の時間」の取組内容について

生徒個々の自由な学習活動を通して、人間としての生き方を体験させる。そのための視点として、「人間」と「郷土」「環境」「福祉」「国際理解」を定めて、各学年2主題ずつ年間を通して実践した。

- ・第1学年…主題「私の街 東海市」「みんな同じ空の下に生きている」、年間85時間実施
- ・第2学年…主題「私たちの地球を救え」「生と死 そして共に手をたずさえて」、年間85時間実施
- ・第3学年…主題「国際人として生きる(世界への扉)」「生き方を見つめよう(わたしはどこに向かうのか)」、年間95時間実施のうち「英語活動」は8時間

## 4 成果と課題について

## (1) 成果

- ・さまざまな学習や体験を通して、研究主題である「コミュニケーション能力」について生徒は多くのもの・こと・人とかがわりをもつことができた。その結果自ら進んで追求しようとしたり、人と交流しようとしたりする姿が見られるようになった。
- ・教科や総合的な学習で、小集団における話し合い活動で「発表する力」はついてきている。

## (2) 課題

- ・授業等における「話す」「聞く」等の授業ルールを生徒に徹底させていきたい。
- ・生徒は多くのもの・こと・人とかがわりをもち、人と交流してきたが、「高め合う」段階まで至っていない。教師の支援と研究主題を達成するような場の設定を工夫する。
- ・第3学年で英語活動の一端として「英語スピーチ」を行った。しかし、第1・2学年での英語活動の実施ができず、充実したものにはなっていない。

## 5 平成16年度の取組について

- ・「総合的な学習の時間」や教科、道徳においてコミュニケーション能力の育成を意図した話し合い活動を多く取り入れる。
- ・「総合的な学習の時間」の英語活動を充実させる。
- ・各教科との関連を明らかにしたカリキュラムの編成をする。

- ・生徒の実態
- ・教師の願い
- ・父母の願い
- ・地域社会の実態

本校の教育目標

校訓 英気・剛健・協調

- ・自ら厳しく律し、すぐれた意思と実行力をもつ生徒
- ・強い心と健やかな体を鍛え、たくましく生きぬく生徒
- ・礼節と責任を重んじ、豊かな心で他と協力する生徒

関係諸法規

- ・日本国憲法
- ・教育基本法
- ・学校教育法
- ・学習指導要領
- ・東海市市民憲章
- ・東海市生涯学習目標

特別活動

【学級活動】  
自主的・実践的な活動を通して、学級や学校生活の充実に、向上を図るとともに、「人間として生きる力を養う。」

【生徒会活動】  
「創生」を目標に、新しい上野中学校を自分たちで作るという態度で取り組んでいく。

【学校行事】  
自主的・実践的な態度を育てる場として、学校行事を精選・企画し、焦点化したねらいを設定し、豊かに感動のある学校生活を創造しようとする。

めざす子ども像

- ・自らの課題を見つめ、学び続ける子ども(学)  
「今なぜこれを学ぶのか」「学んだことを今後どう生かしていくのか」など、学習することの意味・意義を理解し、課題達成をめざし、意欲的に学び続けようとする。
- ・自分なりの考え・意見をもつ子ども(思)  
問題や課題にしっかりと目を向け、多くの仲間と解決しようとする中で、もの見方・考え方を創り上げようとするとともに、自他よきに気づくことができる。
- ・進んでコミュニケーションしようとする子ども(考)  
自分に自信をもち、進んで他者や対象とかかわりをもつ中で、他者や自分自身とかかわりを深め、共に成長していこうとする。

各教科	
国語	・相手意識をもち、自分の思いや考えを的確に表現する力を育てる。 ・話し手や聞き手の意図を正確に理解する力を育てる。 ・情報を収集・選択・活用する力を育てる。
社会	・広い視野に立ち、社会に対する関心を高め、多角的・多面的に社会的・公的の意義を探究する。
数学	・日常生活の中でのさまざまな事象を数学的に表現し、説明しようとする姿勢を育てる。
理科	・自然現象のしくみや科学的にとらえるとともに、学んだ知識を日常生活に結びつけ、日常を豊かにしたり、適切に説明したりすることができようとする。
音楽	・コンピュータを活用した音楽づくりを通して、主体的表現活動ができるように育てる。 ・また、インターネットを活用し、音楽文化等について理解を深める。
美術	・制作における表現技法の拡大を図るとともに、インターネットなどのデジタルコミュニケーションを取り入れた主体的表現活動ができる。
保健体育	・生涯にわたる豊かなスポーツライフ実現の基礎を築くとともに、スポーツを通してルールやマナーを身につける。
技・家	・生活環境を整え、活動の基盤をつくる。 ・家庭の機能について理解を深め、生活をよりよくしようとする能力と態度を育成する。
英語	・海外の事象に関心をもち、自ら進んで学ぼうとする態度を育てる。 ・また、自己の体験や英語活動を通して、実践的なコミュニケーション能力を養う。

道徳

- ・自らの生き方を考え、よりよき生きようとして自己啓発する。
- ・自分で判断し、その結果に責任をもつ主体的な人間を育成する。
- ・働くことや奉仕することの喜びを体験を通して考えさせ、社会のために献身的に取り組む態度を育てる。

総合学習の目標

- ・豊かな体験を通して、人間として生きる力を育てる。
- ・社会生活を統合的・体験的に追求し、主体的に切り開いていくための統合的な力を育てる。
- ・感性や直感性・創造力などの豊かな心を育てる。
- ・自分にあつた学習方法を確立し、生涯学習社会における学習姿勢の基礎としての学び方を育てる。

生徒指導

- ・目標に向かって自ら判断し、主体的に行動する中で自主性を育てる。
- ・互いの考えを尊重し、よりよい人間関係をつくりあげていく能力を育てる。
- ・地域のひととの交流を通して、社会のルールやマナーを学ぶ。
- ・地域に出て人や社会自然とふれあう体験活動を通して、相手を思いやる心を育てるとともに、社会のルールやマナーを学ぶ。

総合学習の指導方針

- ・生徒自らが自分で判断し、責任をもって行動することができるように指導する。
- ・生きる力を伸ばし、豊かな心を育てるために体験を重視した指導をする。
- ・地域と連携し、地域とともに生きるという姿勢で学習を作り上げていく。
- ・活動の視点をもち、評価をしたことを指導に生かす。

各学年の目標(上中カリ)

【1年生】	【2年生】	【3年生】
<b>【前期】</b> ・中学生としての自覚をもつ、望ましい集団的行動の規範を身に付け、創意工夫を生かした生活環境を創造する。 <b>【後期】</b> ・我が故郷東海市の歴史・文化・産業などを人とのつながりを通して、主体的に探究しようとする。	<b>【前期】</b> ・地球環境と人間のかかわりについて、主体的に地球環境を守るための一歩を踏み出す。 <b>【後期】</b> ・社会福祉や老人福祉などについて、身近な社会生活を通して、自分と社会のかかわりを考え、行動する。	<b>【前期】</b> ・世界の中の日本国を人として、今後生きていく上で、国際社会の中で生きていくための態度を高めようとする。 <b>【後期】</b> ・15年間を振り返り、自らの成長や感謝の気持ちを探る。

学校環境

余裕教室のリニューアルによる生活感あふれる多目的室や学習室を活用し、自らの意志で行動できるような環境整備を図る。

家庭及び地域社会との連携

ボランティアなどの協力関係を強化し、自己の教育力の発掘と実践の場としての体制を整える。